

SCHEDULE

東京都写真美術館展覧会スケジュール

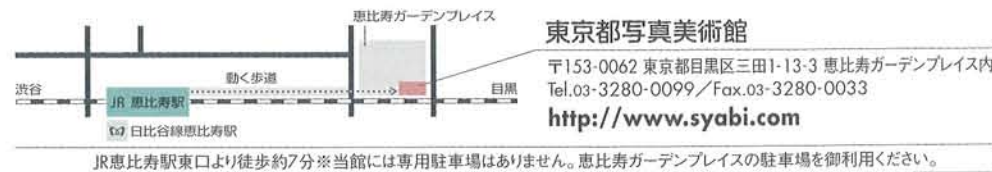
2007	3F展示室	2F展示室	B1F映像展示室	1Fホール
5	 「昭和」 写真の1945-1989	 大地への想い 水越武写真展	天野尚写真展 4月21日(土)~5月20日(日)	 地球交響曲第六番 4月28日(土)~6月8日(金) 予定
6	第1部 昭和20年代 オキュパイド・ジャパン 5月12日(土)~6月24日(日)	5月12日(土)~7月1日(日)	第32回 2007 JPS展 5月26日(土)~6月10日(日)	
7	 第2部 昭和30・40年代① ヒーロー・ヒロインの時代 6月30日(土)~8月19日(日)	 マーティン・バー FASHION MAGAZINE展 7月7日(土)~8月26日(日)	 世界報道写真展 2007 6月16日(土)~8月5日(日)	 雲南の少女 ルオマの初恋 6月16日(土)~7月下旬
8	6月30日(土)~8月19日(日)	7月7日(土)~8月26日(日)	8月16日(土)~8月5日(日)	おやすみ、クマちゃん 8月初旬~8月下旬
9	 第3部 昭和30・40年代② 高度成長期 8月25日(土)~10月14日(日)	 鈴木理策展 「熊野、雪、桜」 9月1日(土)~10月21日(日)	 キュレーターズ・チョイス 07 「対話する美術館」 8月11日(土)~10月8日(月・祝)	
10	8月25日(土)~10月14日(日)	9月1日(土)~10月21日(日)	JPA展 10月13日(土)~10月28日(日)	
11	第4部 昭和50年代以降 オイルショックからバブルへ 10月20日(土)~12月9日(日)	東松照明 東京曼陀羅展 10月27日(土)~12月16日(日)	写真新世紀2007 11月3日(土)~11月25日(日)	

ご利用案内

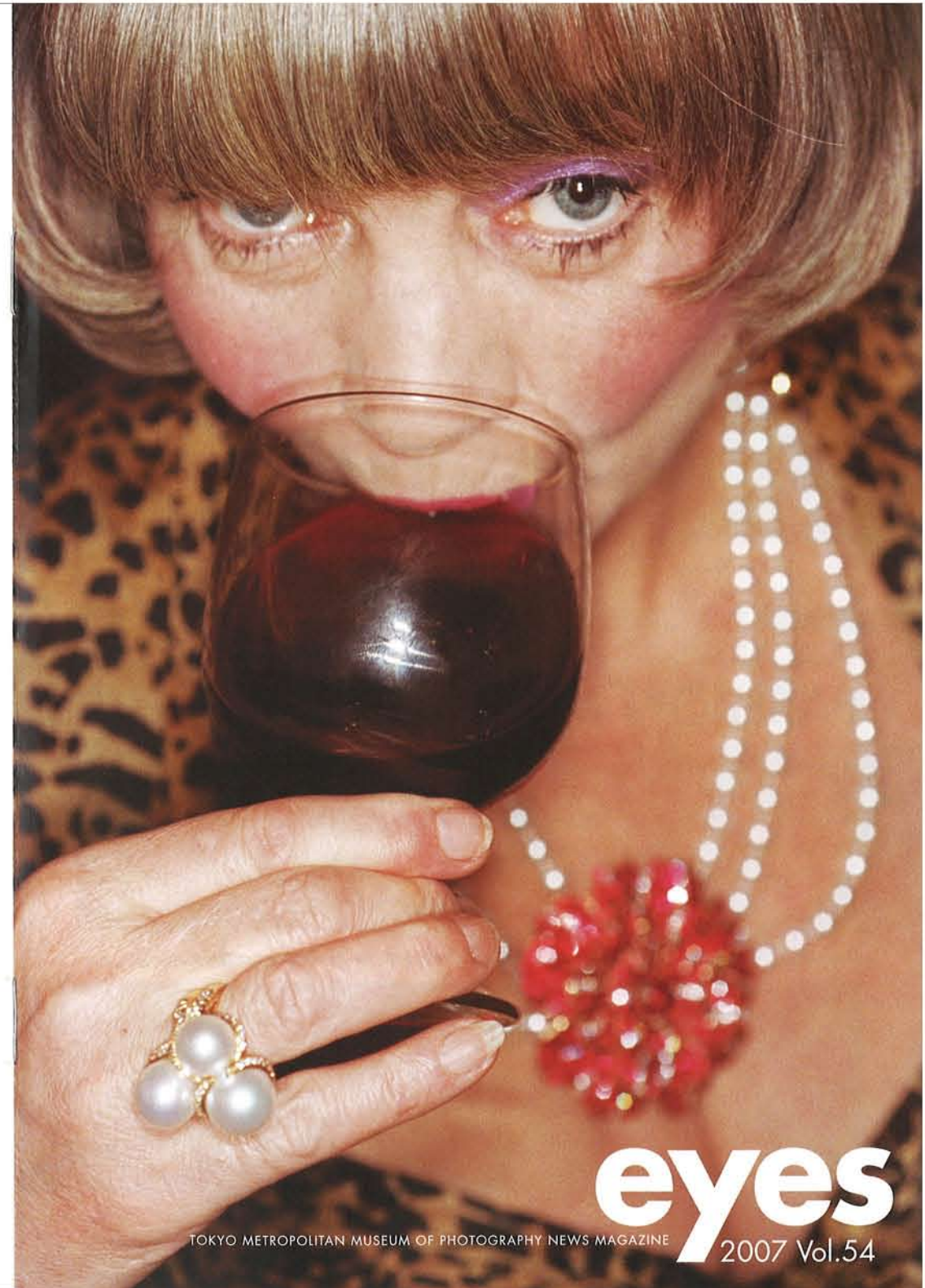
- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合、その翌日 ※ただし、7/23は臨時開館)、年末年始
- 開館時間：10:00~18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

割引チケットの販売

お得な割引料金で2会場以上を自由に組み合わせてご覧いただける割引チケットを販売しております。詳しくはチケット売り場でおたずねください。



※本誌編集ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則として消費税込みの価格です。
東京都写真美術館ニュース「アイズ07」54号 ●発行日：2007年5月16日 / 企画・編集：東京都写真美術館事業企画課 普及係 ●印刷・製本：JTB印刷株式会社 ●発行：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ©2007 ●本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。 R100



eyes
TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY NEWS MAGAZINE
2007 Vol.54



①「代償」シリーズより 1997-2005年

Topics
Martin Parr

マーティン・パー FASHION MAGAZINE展

英国を代表し、いま、もっとも活躍する写真家のひとりである、マーティン・パー。独特の感性によってとらえられた彼の作品はどれも一流のアイロニーを効かせたものばかり。今回は日本ではじめての大規模な個展を前に、彼の作品について学芸員の中村浩美さんにお聞きしました。

——マーティン・パーの作品を見ると、とてもアイロニック（皮肉的）なイメージを抱いてしまうのですが、実際にはどんな写真家なのでしょう？

「もともとはサッチャー政権下における市民の不安や苛立ちをテーマとしたドキュメンタリー写真を撮影していたのですが、80年代のニューカラー（白黒写真が主流だったアートの世界で、カラー写真の表現力を追求した動き）に影響を受け、カラー写真に転向した写真家です。本のコレクターとしても有名で、私が訪ねたロンドンのオフィスも、棚という棚に本がぎっしりと詰められていましたね。最近では自身のコレクションによる写真評論の本を出したほどです」

——今回の「FASHION MAGAZINE」は日本ではじめての大規模な個展ということですが、どんな構成になるのでしょうか？

「2005年にパリで行われた回顧展では、マーティン・パーのドキュメンタリー時代の写真が一挙に公開されました。その一方で、ブルジョアのデパートとして名高い『ボン・マルシェ』で個展を開催したのですが、それが、この『FASHION MAGAZINE』だったんです。ファッションショーを再現した展示会場の床には一面に本人の顔写真を張り巡らしたカーペットを敷き、ロココ調のソファを置くなど、とても凝った演出を行い、好評を博しました。今回はそんな『FASHION MAGAZINE』の東京版という形になると思います」

——作品についてお聞かせください。

「ヴァレンチノやゴルチェなど、いわゆる一流有名デザイナーたちのショーが終わったバックステージで、恒例の“キス&ハグ”をテーマに撮影したもの(④)や、ショーに集まるオシャレな関係者たちをちょっとシニカルな視線でとらえたものなどがあります。また、観光地における奇抜なファッションや



②「研修生」シリーズより 2005年

靴ファッションに滑稽なまで執着するシリーズ(①)、乗馬などイギリスの伝統的な衣装とともに、最新の洋服を着たファッションモデルを対比させたもの、スーパーマーケットに集う主婦たちの写真や、オフィスを彩るOLファッション(②)など、どれも彼独特の皮肉とユーモアをこめた視線で写した作品が勢ぞろいです」

——それまで撮っていたドキュメンタリー作品との違いはありますか？

「ファッションマガジンを観るとき、私たちは、ドレスアップしたモデルに自分自身を投影させて楽しみます。いわば夢を売っているわけですが、マーティン・パーは、その裏側にある部分を浮かび上がらせているんです。本来、ニューカラーというのは絵画のように美しく撮るというニュアンスがあるのですが、彼の場合はどちらかというと、美しく撮るというより、人間の本質を暴き出してやろうという撮り方ですね。ですから、作風は違ってきているものの、作家としての心構えはドキュメンタリー時代と同じだと思うんです」

——これまでに何回か来日経験があるそうですが、東京での個展について彼自身どうとらえているのでしょうか？

「本人は、『東京というファッションナブルな街で、どんな方が観てくれるか楽しみだ』とっていました。何度か来日した際には、ゴスロリやギャングロ系といった若者のファッションなどにも興味を示し、彼の中で東京はユニークなファッションをした人が多い街ととらえられているようですね。今回はキッシュで毒々しいマーティン・パーの世界を新作を含めたカラー写真約100点で構成いたしますので、どうぞご期待ください」



Martin Parr ●マーティン・パー
1952年、ロンドンに生まれる。マンチェスター大学で写真を学び、卒業後英国各地で教鞭をとる。ニューカラーの旗手と評され、そのユニークな写真には社会を見つめる独特のセンスが現れている。1988年よりマグナムに参加、現在は正会員。



③「リップスティック・メモリーズ」シリーズより 2005年



④「クチュール・キス」シリーズより 2005年

2F

2階展示室
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

7月7日(土) ▶ 8月26日(日)
7月23日(月)は臨時閉館します。

マーティン・パー
FASHION MAGAZINE展

□ 一般 1,000(800)円 □ 学生 800(640)円
□ 中高生・65歳以上 600(480)円

()は20名以上の団体および東京都写真美術会友の会会員、上記カード会員割引料金
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
マグナム・フォト東京支社
○協賛：Paul Smith
○協力：恵比寿ガーデンプレイス

詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

お問い合わせ：東京都写真美術館 03-3280-0099



「FASHION MAGAZINE」2005年
(表紙はマーティン・パー本人)



ポール・スミス、ファッションデザイナー、2005年

私の、私による、私のためのファッション・マガジンにようこそ!

本展は、英国を代表する写真家、マーティン・パーの日本では初めての大規模な個展となります。彼は、ユニークなコンセプトとデザインによる写真集や、すぐれた写真集を一望する写真評論集などで知られていますが、なかでも2005年に出版された「FASHION MAGAZINE」は、そのシンプルなコンセプトに華やかなイメージとその裏側、そして何よりも彼一流のアイロニーを効かせた代表作といえるでしょう。

今回は、ポール・スミスの2007年秋冬コレクションを撮り

おろした新作数点を含む、カラー写真約100点を展示いたします。シニカルで毒の効いたマーティンカラーをどうぞお楽しみください。

—— カフェトーク開催予定 ——

マーティン・パー氏をむかえてのカフェトークを予定しています
開催日：7月14日(土) ※通訳付き
場 所：2Fカフェ「シャンブルクレール」
詳細は決定次第ホームページにてお知らせいたします。

2F

2階展示室
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

5月12日(土) ▶ 7月1日(日)

「大地への想い」水越武写真展

□ 一般 800(640)円 □ 学生 700(560)円 □ 中高生・65歳以上 600(480)円

○主催：財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ○後援：社団法人 日本山岳会
○協賛：株式会社ニコン/ニコンカメラ販売株式会社/日本製紙株式会社/富士フィルムイメージング株式会社
○協力：文化堂印刷株式会社/岩波書店/株式会社アイデム/写真弘社/クレヴィス

詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

日本列島、そしてヒマラヤ、熱帯雨林、アラスカ、パタゴニアなど地球の生態系の生命の営みをひたむきに撮り続ける写真家・水越武。本展では壮大な地球のなかで繰り広げられる生命の神秘と、垂直分布から見た日本列島のさまざまな生態系の様相を表現したカラー写真をはじめ、1971年に発表され、水越の原点となったシリーズ「穂高」、「ヒマラヤ」のモノクローム作品など、水越の約40年に及ぶ写真家活動で撮影された代表作約200点を一堂に展示。まさに集成展ともいべき構成となっております。温暖化や自然破壊への警告だけでなく、「自然の多様性こそが、地球を美しく彩り、豊かな表情を与え、美しく調和させる」という水越の大地への想いを感じてください。



ビアフォ氷河の氷河湖、パキスタン 1979年 ©水越武

1F

地下1階映像展示室
Images & Technology Gallery

5月26日(土) ▶ 6月10日(日)

友の会割引
三越カード割引
アトレカード割引

第32回2007JPS展

□ 一般 700円 □ 学生 400円

○主催：東京都写真美術館 ○後援：文化庁

詳細ホームページ：http://www.jps.gr.jp

1950年に創立した日本写真家協会では、写真文化の振興普及のため、写真愛好家を対象にフォトコンテストを開催し、今年で32回を迎えました。JPS展の応募作品はレベルが高く、当コンテスト出品者から多くのプロ写真家が生まれていることでも知られています。



金賞：亀田潤富代
「梅雨の晴れ間」

三好和義氏による講演会を開催

日時：5月27日(日)15:00～ 会場：1Fホール 入場無料

お問い合わせ：(社)日本写真家協会2007JPS展委員会 03-3265-7453

3F

3階展示室
Exhibition Gallery

5月12日(土) ▶ 6月24日(日)

友の会無料
三越カード割引
アトレカード割引

昭和 第1部「オキュパイド・ジャパン(占領下の日本)」

□ 一般 500円 □ 学生 400円 □ 中学生以下・65歳以上 250円

詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

「昭和」4部作シリーズ展の第一弾は、1951年のサンフランシスコ講和条約まで日本が占領下に置かれていた時代を背景に、「占領下の風景」「子どもたちの戦争」「占領下の人間」「ヌード一性の解放」「民主化への道」をテーマに、約170点の写真家たちの作品で構成いたします。



林忠彦「太宰治」1946年

3F

3階展示室
Exhibition Gallery

友の会無料 | 三越カード割引 | アトレカード割引

6月30日(土) ▶ 8月19日(日)
7月23日(月)は臨時閉館します。

昭和 — 写真の1945-1989 —

第2部「ヒーロー・ヒロインの時代」昭和30年～40年代 Part.1

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円
□ 中高生・65歳以上 250(200)円

()は20名以上の団体および上記カード会員割引
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都 東京都写真美術館
○協賛：凸版印刷株式会社
○協力：株式会社恵比寿ガーデンプレイス/
フォト・ギャラリー・インターナショナル/新潮社

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

スポーツ選手から俳優、歌手、政治家まで、さまざまな煌めくヒーロー・ヒロインたちが活躍した昭和30～40年代。それは、日本人が皆でヒーロー・ヒロインを共有できた最後の時代であったと言えるかもしれません。際立った人たちが生まれるべくして生まれ、また、当時の日本も彼等を必要とし、受け入れる土壌があったのでしよう。第1部に引き続き、本展では、東京都写真美術館の2万3000点余の収蔵作品より、ポートレイト写真というジャンルを通して、エネルギー

に満ちあふれたヒーロー・ヒロインの姿を捉えた写真家たちをご紹介します。時代の顔というべきヒーロー・ヒロインの存在は、激動する昭和中期の熱い時代の空気を、ダイレクトに私たちに伝えてくれるでしょう。

出品予定作家

秋山庄太郎、石井幸之助、石元泰博、福村隆正、大竹省二、小川隆之、木之下晃、緑上和美、齋藤康一、佐藤明、沢渡朔、篠山紀信、ジョージ・S・シンベル、高梨豊、立木義浩、中村正也、林忠彦、早田雄二、藤井秀樹、細江英公、松島進、松本徳彦、三木淳、ウィリアム・ユージン・スミスほか



02



- 01 「ポートレイト #215 (高倉健、藤純子)」 石元泰博 昭和43(1968)年
- 02 「松下幸之助」 齋藤康一 昭和49(1975)年
- 03 「越路吹雪、ロングリザイタル、日生劇場」 松本徳彦 昭和46(1971)年11月4日



03

3F

3階展示室
Exhibition Gallery

8月25日(土) ▶ 10月14日(日)

友の会無料
三越カード割引
アトレカード割引

昭和 — 写真の1945~1989 —

第3部「高度成長期」昭和30～40年代 Part.2

□ 一般 500円 □ 学生 400円 □ 中学生以下・65歳以上 250円

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

「もはや戦後ではない」といわれ、高度成長期を迎えた人びとの生活は、華やかな近代化の一方で、冷戦、安保、公害など、暗い影が忍び寄りました。写真家の視点もリアリズム的に場景を捉える写真から、自分たちの主観をうつしだす情景へと変化してきました。本展では、転換期であったこの時代を、写真家たちがどう捉え、どう自分たちなりに表現していったのかをご紹介します。

展覧会関連書籍〈好評発売中!〉

「昭和の風景」新潮社刊 2100円(税込)

展覧会の主要作品を網羅し、その時代背景や写真史的な位置づけを担当学芸員がやさしく解説した、公式ガイドブック写真集です(掲載作品約160点)



「街、東京 #175」 石元泰博 昭和33(1958)年頃



「センチメンタルな旅」より 荒木経惟 昭和46(1971)年



TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY
B1F 地下1階映像展示室
 Image & Technology

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引
6月16日(土) ▶ 8月5日(日)
 7月23日(月)は臨時閉館します。

世界報道写真展2007

WORLD PRESS PHOTO 2007

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円
 ()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員
 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：朝日新聞社/世界報道写真財団 ○共催：東京都写真美術館
 ○後援：オランダ王国大使館/社団法人日本写真協会/社団法人日本写真家協会
 ○協賛：キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社/ティエヌティエクスプレス株式会社
 ○協力：グーグル株式会社

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

東京都写真美術館では「世界報道写真展2007」(朝日新聞社など主催)を、6月16日より開催いたします。「世界報道写真財団」は、報道写真の重要性と報道の自由を世界的規模で広げるために、1955年、オランダに設立されました。毎年、プロの写真家が前年1年間に撮影した報道写真を対象に「世界報道写真コンテスト」を行っており、事件、事故、紛争やスポーツ、アートなどのニュース写真を10部門に分類。それぞれ単写真、組写真の1位から3位までの入賞作品を選出し、そのなかから約200点を集めた展覧会は世界45カ国以上を巡回しております。50回目を迎える今年のコンテスト応募数は124カ国・地域から4460万人、7万8000点を超えました。大賞に輝いたのは、イスラエルのレバノン爆破で破壊されたベイルートの町を通り抜ける若者の写真で、複雑な現地社会を象徴したものとなっています。また、今年はニューヨークを拠点に数々の紛争最前線で取材してきた日本人写真家、Q・サカマキさんがスリランカの紛争現場でとらえた写真で「ニュースの中の人びと」部組写真で1位に輝きました。そのほかにも、珍しい動物の生態やサッカーワールドカップなどスポーツ写真、ポートレート、と素晴らしい写真が目白押しです。いま、この地球上で起こっているあらゆるニュースを最高の技術と取材力で、また、時に命を懸けて撮影した写真家たちの作品の数々が、今年も見る者の心を大きく揺さぶることでしょう。

01		
02	03	04
05	06	07

- 01 スベンサー・ブラット(アメリカ) ゲッティ・イメージズ
「破壊された南ベイルートの町を車で通り抜ける若者グループ」世界報道写真大賞
- 02 アルトゥーロ・ロドリゲス(スペイン) AP通信
「テネリフェ島のテヒタビーチで密入国者を助ける観光客」ニュースの中の人びとの部組写真2位
- 03 デイモン・ウィンター(アメリカ) ロサンゼルス・タイムズ紙
「クリント・イーストウッド」ポートレートの部組写真3位
- 04 ビーター・ヴァン・アトネール(アメリカ) ゴラリス・イメージズ
「夜襲」一般ニュースの部組写真2位
- 05 ベーター・ショルス(オランダ) ロイター通信
「ワールドカップ決勝でのシタンの退場」スポーツ・アクションの部組写真1位
- 06 ポール・ニックレン(カナダ) ナショナル・ジオグラフィック誌
「ヒョウアザランの狩り」自然の部組写真1位
- 07 Q・サカマキ(日本) リダックス・ピクチャーズからニュースウィーク誌
「スリランカ、終わらな戦争」ニュースの中の人びとの部組写真1位

ディヴィッド・グッテンフェルダー氏(日常生活の部・組写真1位)
 記念講演会：7月23日(月) 14:00~ 1階ホール(展覧会半券で入場可)

鈴木理策:熊野、雪、桜

Suzuki Risaku: kumano, yuki, sakura

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円
□ 中高生・65歳以上 500(400)円

()は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
※第3水曜日は65歳以上無料

○主催:財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/
朝日新聞社
○協賛:株式会社資生堂/凸版印刷株式会社/
ラブリーンクィーン株式会社
○助成:芸術文化振興基金/
財団法人アサヒビール芸術文化財団

❖ 詳細ホームページ: <http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>



01



02

これまで重点収集作家個展、新進作家グループ展を開催してまいりました東京都写真美術館では、このたび、国際的に活躍する日本の中堅作家の作品表現を積極的に紹介する機会を設けることとなりました。

その第1回目の作家展として2007年は「鈴木理策」展を開催いたします。鈴木理策は1963年和歌山県に生まれ、自らの故郷であり聖地でもある熊野やその周辺、日常生活から続いていく場としての聖地などをモチーフにした写真作品を制作し、そのライフワーク的作品が評価され、2000年に木村伊兵衛賞、2006年には東川賞国内作家賞、和歌山県文化勲章 文化奨励賞を受賞。2003年、ヒューストン美術館のグループ展出品、2006年、ニューヨークでの個展など、国際的な活動の場を広げていきました。

今回は、現在も継続して撮り続けている「熊野」や代表作「桜」を紹介するとともに、初公開となる雪をモチーフにした新作も展示いたします。日本人にとって普遍的な表象を追いかけながらも、時空は現在の重なりであることを意識させる作品は、現在の私たちの立脚点を確認するためのよい指標となることでしょう。最も活躍が期待される作家のひとり、鈴木理策の現在進行形の活動をご期待ください。



03



04



05

01/02 「海と山のあいだ」2005年 発色現像方式印画

03 「雪」2007年 発色現像方式印画

04/05 「桜」2002年 発色現像方式印画

©Suzuki Risaku

キュレーターズ・チョイス07 「対話する美術館」

専門スタッフが選ぶこだわりの作品から知られざる傑作、珍品を一挙公開!

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円 □ 中高生・65歳以上 250(200)円

○主催：東京都／東京都写真美術館

※詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

「ナンとブライアン、ベッドで、ニューヨーク」
ナン・ゴールドフィン 1983年

ナン・ゴールドフィンの衝撃的デビュー作「性的依存のバラード」からの1点。性を巡る日常を日記風に綴り、女性のセクシュアリティ表現の金字塔となった。

「わたしの1点」
並原美智子(東京都写真美術館事業企画課長)



東京都写真美術館には、展覧会の実施、写真映像作品・資料の収集、教育普及事業、図書室の運営、写真に保存についての科学研究にたずさわる学芸員、専門調査員、図書館司書、保存科学専門員といった職員が従事しています。このような専門スタッフが、日頃の研究や事業を企画・運営するなかで培った個性的な視点にもとづいて、収蔵作品をセレクトする「キュレーターズ・チョイス2」は、テーマを「対話する美術館」と題し、専門スタッフならではの視

点で、作家や作品との対話、そしてなによりもご来館いただくお客さまとの対話を実践し、写真美術館の魅力を広く示してゆきます。当館に収蔵されている2万3千点にのぼる作品・資料と、約6万点に及ぶ写真・映像に関する図書の中から専門スタッフがセレクトした名品、知られざる傑作からあっと驚くような珍品まで、通常の企画展ではなかなか観ることのできない収蔵作品や資料にご期待ください。



森山大道 ニューヨーク・シティ 1972年

2008年5月「森山大道」展 開催決定! 『森山大道論』 評論公募のお知らせ

東京都写真美術館では、2008年5月に開催する「森山大道」展に向けて、森山大道氏の写真作品をテーマにした論文を公募します。入賞論文は、展覧会に合わせて淡交社より刊行する評論集「森山大道論」(監修:東京都写真美術館)に掲載します。

■募集期間：2007年6月1日(金)～2007年9月10日(月)(当日消印有効)

写真の技法解説 第2回

展示室の作品の多くには、タイトルや年代、技法や所蔵先などを記載したキャプションが添えられています。ここでは、お客様から特にご質問の多い「技法」について、2回に分けて簡単に解説します。その年代や制作工程がわかると、より作品の背景が想像でき楽しく鑑賞できます。

解説:金子隆一(東京都写真美術館 専門調査員)

01 Platinum print 1880年代～1920年代	ウィリアム・ウィリス(英)が1873年に考案しました。画像がプラチナで形成されているので変退色しにくく、格調高い深みのある豊かな階調で再現できるという特徴があります。光に感じる鉄の化合物を紙に塗り、ネガを密着させ太陽の光で焼き付けます。現像をする中で鉄の化合物をプラチナに置き換えて画像とします。一度はすたれてしまいましたが、現代写真家がその特徴に注目し、今日の印画法として使われるようになりました。
02 Carbon print 1870年代～1920年代	アルフォンス・ボフトヴァン(仏)が、1855年にセラチンやアラビアゴムなどが重クロム酸カリなどの薬品と混ぜると光に感じる性質(感光したところが硬くなる)をもつという原理を発見し、カーボン印画法、ゴム印画法、オイル印画法などのビグメント(顔料)印画法のもとになりました。カーボン印画法は、ジョセフ・W.スワン(英)が、1864年に考案しました。顔料をセラチン溶液に混ぜ、それを紙に厚く塗ります。乾かした後、重クロム酸カリの溶液で感光性を与え、ネガを密着させて、太陽の光で焼き付け、温湯で現像します。
03 Gum-bichromate print 1860年代～1920年代	ビグメント印画法のひとつ。ボフトヴァンが発見した原理にもとづき、19世紀末にアルフレッド・マスケル(英)やロバート・ドマシー(仏)らによって改良され、ビクトリアリズムの芸術写真の代表的な印画法として広く使われました。アラビアゴムと顔料と重クロム酸カリを混ぜた溶液を水彩用紙などに薄く塗り、乾かします。ネガを密着して太陽の光で焼き付けた後、冷水で現像します。この過程を何度も繰り返して、画像をコントロールして求める調子を作りだしてゆきます。
04 Bromoil print 1910年代～1930年代	E.J.ウォール(英)が1907年に原理を発見し、C.W.パイパー(英)が同年に完成しました。普通に引き伸ばしたセラチン・シルバー・プリントは金属銀で画像ができています。それを、銀のある部分のセラチンは硬く、そうでない部分は水を含むようにする薬品をつかって脱銀漂白をします。そこに油性インク(油絵具など)を刷毛をつかって叩きつけると、水と油の反発作用によって画像が現れてきます。日本のビクトリアリズムの芸術写真家たちは盛んにこの技法を使って作品を制作しています。
05 Dye transfer process 1950年代～1990年代	通常カラー写真を三色分解して、画像をレリーフでつくったマトリクスと称される支持体に染料を染み込ませ、専用の紙などに転染してカラー写真をつくる方式。クリアな発色と保存性にすぐれているとされ、カラー作品のオリジナル・プリントを制作する技法として使われたが、公害問題が発生し現在は行われていない。
06 Silver dye bleach print 1960年代～現在	カラー・ポジから直接にカラー印画をつくる方式の総称で、これまでは、1963年にスイスのチバガイギー社が開発した商品名である「チバクローム・プリント」と通称されていました。色素をあらかじめ含んでいる三つの感光乳剤層をもつ印画紙で、補色にあたる部分を漂白してカラーの画像をつくります。光が全くあたらなかった余白は黒くなってしまいます。
07 Chromogenic print 1940年代～現在	カラー・ネガからカラー印画をつくる方式の総称で、これまではコダック社の商品名である「タイプCプリント」と通称されていたものです。発色剤(カブラー)を含んだ感光材料を三層にした印画紙で、現像をする過程で発色させてカラーの画像をつくるものです。
拡散転写方式印画 Diffusion transfer process 1950年代～現在	エドウィン・ランド(米)が、1947年に発明した「インスタント写真」の方式の総称。この原理にもとづき、現在はアメリカの「ボラロイド」、富士フィルムの「フォトラマ」などの製品があります。
インクジェット・プリント Ink-jet print 2000年代～現在	デジタル化された画像にしたがって、微細な顔料や染料を吹き付けて画像を形成します。通常は4色でカラー写真の画像をつくります。

※年代は、その技法が多く使用された時期をあらわしています

1F | 1階ホール
Hall Cinema Information

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

東京都写真美術館で観る映画シリーズ

詳細ホームページ: <http://www.syabi.com./schedule/schedule.html> ※時間等変更になる場合がございます。最新の情報はホームページをご覧ください。

Film Series Vol.31 雲南の少女 ルオマの初恋

誰もが経験したことがある、
甘酸っぱい初恋のあの日を想い出して…

青々と果てなく続く雲南の大地。17歳のハニ族の少女・ルオマは写真家を目指して都会からやってきた青年に恋をしてしまう。ユネスコの世界自然遺産でも知られ、雲の上海抜2千メートルの神々しい棚田(水を引いた段々畑)を舞台に、純真無垢なハニ族の少女の魂を描く初恋物語。

ワコー 03-3248-0747 www.ruoma.jp/



○上映スケジュール: 6月16日(土)~7月下旬
※7月23日(臨時上映日)は、休映となります
○上映時間: 10:30/12:40/14:50/17:00/19:00
○料金: 一般 1,800円/学生 1,500円
中学生以下・シニア(60歳以上) 1,000円

夏休み特別企画 おやすみ、クマちゃん

愛らしい“クマちゃん”とクオリティの高い
芸術的で大人も子供も楽しめる人形アニメ

1975年~87年にかけてポーランドのTVで放送され、不動の人気を築いた人形アニメーションシリーズから10本を上映。毎回、おやすみ前のクマちゃんが寝室で、今日の面白い出来事をお話してくれる。一話ごとに違うパジャマや細部にまで凝った部屋の装飾なども要チェック!吹き替えは子供に大人気のケロボンズ。

エデン 03-5738-5704 www.eden-entertainment.jp/



○上映スケジュール: 夏休みロードショー
○上映時間: 8月初旬~8月下旬
○料金: 一般 1,800円/学生 1,500円
中学生以下・シニア(60歳以上) 1,000円

ミュージアムショップ「ナディッフ バイテン」 1F



お問い合わせ:
「ナディッフ バイテン」
直通 03-3280-3279
www.syabi.com/shop/shop.html

Toy



「はこアニメ」は自分で描いたイラストをアニメーションのように動かすことができる工作キットです。夏休みの宿題にもいかがでしょうか。ショップでは他にも様々な映像グッズを取り揃えております。

はこアニメ ¥1,980(税込)

カフェ「シャンブル クレール〜明るい部屋〜」 1F 2F



お問い合わせ:
カフェ「シャンブル クレール」
直通 03-5798-2218
www.syabi.com/cafe/cafe_01.html

Cake



フランスのチョコレートを使用し、クルミとピータンナッツをトッピングしたクラシックショコラ。ちょっぴりビターで香ばしい大人な味わいです。珈琲にはもちろん、ベルギーのブラウンビールとも相性抜群です。是非ご賞味ください。

クラシックショコラ ¥550(税込)

維持会員 Membership

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。※詳しくはHPをご覧ください。http://www.syabi.com/Membership.html

- 特別維持会員
株式会社アイデム
キヤノン株式会社
株式会社資生堂
東京電力株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社リコー
- 維持会員
株式会社I&S BBDO
株式会社アサツーディ・ケイ
旭化成株式会社
朝日新聞社
朝日生命保険相互会社
アサヒビール株式会社
朝日放送株式会社
株式会社アシェット婦人画報社
アップルジャパン株式会社
アデコ株式会社
株式会社アマナ
エスエス製薬株式会社
株式会社NHKアート
株式会社NHKエデュケーション
株式会社NHKエンタープライズ
株式会社NHKプロモーション
株式会社NTTデータ
株式会社NTTコム
NTT都市開発株式会社
株式会社エフエム東京
エルメスジャパン株式会社
株式会社大塚商会
株式会社大林組
興村印刷株式会社
オムロン株式会社
オリックス株式会社
オリバス株式会社
株式会社オンワード樺山
科研製薬株式会社
カンオ計算機株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社角川書店
カールス株式会社
カルピス株式会社
キッコーマン株式会社
株式会社紀伊國屋書店
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
株式会社キューンコミュニケーションズ
株式会社ぎょうせい
共同印刷株式会社
社団法人共同通信社
協和醗酵工業株式会社
- キリンビール株式会社
株式会社講談社
株式会社国書刊行会
株式会社コーセー
コダック株式会社
コニカミノルタホールディングス株式会社
株式会社ザ・アール
サッポロホールディングス株式会社
佐藤製菓株式会社
三共株式会社
産経新聞社
サントリー株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画
株式会社ザ・印刷株式会社
株式会社実業の日本社
清水建設株式会社
株式会社集英社
株式会社主婦と生活社
株式会社主婦の友社
読報社写真印刷株式会社
株式会社小学館
松竹株式会社
信越化学工業株式会社
株式会社新潮社
株式会社スタジオアリス
株式会社スタジオジブリ
株式会社スタッフサービス・ホールディングス
住友化学株式会社
株式会社生活の友社
セイコー株式会社
株式会社青春出版社
積水ハウス株式会社
株式会社絶対空間
セントラル警備保障株式会社
全日本空輸株式会社
ソニー株式会社
第一建築サービス株式会社
第一法規株式会社
大成建設株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社竹中工務店
株式会社タムロン
株式会社丹青社
株式会社中央公論新社
中外製薬株式会社
株式会社ティー・ピー・オー
株式会社テー・オー・ダブリュー
- 株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
電源開発株式会社
株式会社電通
東亜建設工業株式会社
東京ガス株式会社
東京急行電鉄株式会社
東京工芸大学
東京新聞・中日新聞社
株式会社東京スタジオ
東京総合写真専門学校
東京テアトル株式会社
東京都競馬株式会社
株式会社東京ドーム
株式会社東京美術倶楽部
株式会社東京放送
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
株式会社東芝
東宝株式会社
株式会社東北新社
株式会社徳間書店
図書印刷株式会社
戸田建設株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社ニコン
日外アソシエーツ株式会社
日産自動車株式会社
株式会社NIPPOコーポレーション
日本オラル株式会社
株式会社日本カメラ社
日本経済新聞社
日本興亜損害保険株式会社
株式会社日本広告社
社団法人日本広告写真家協会
日本写真印刷株式会社
社団法人日本写真家協会
社団法人日本写真協会
日本写真芸術専門学校
日本写真作家協会
社団法人日本写真文化協会
日本大学芸術学部
日本たばこ産業株式会社
日本テレビ放送網株式会社
日本ハム株式会社
日本ヒューレット・パッカド株式会社
株式会社ニッポン放送
日本油脂株式会社
日本レコードマネジメント株式会社
日本ロッテ株式会社
株式会社博報堂
- 株式会社林原生物化学研究所
びあ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
光写真印刷株式会社
株式会社ビックカメラ
ヒノキ新築株式会社
株式会社ファーストリテイリング
株式会社ファンケル
富国生命保険相互会社
富士重工業株式会社(スバル)
富士ゼロックス株式会社
株式会社フジテレビジョン
富士フィルム株式会社
株式会社扶桑社
株式会社フジデスト
株式会社プリンスホテル
株式会社プレアムマン
株式会社文芸春秋
株式会社ベネッセコーポレーション
ペンタックス株式会社
株式会社ホテルオークラ
株式会社建内カラー
本田技研工業株式会社
毎日新聞社
株式会社マガジンハウス
松下電器産業株式会社
マミヤ・デジタル・イメージング株式会社
丸善株式会社
三井倉庫株式会社
株式会社三越
三菱地所株式会社
武蔵大学
森ビル株式会社
モルガン・スタンレー証券株式会社
モンブラン・ジャパン株式会社
ヤマロジスティクス株式会社
UFJニコス株式会社
ユニバー・ジャパン株式会社
横河電機株式会社
株式会社吉野工業所
株式会社ヨドバシカメラ
読売新聞社
ライオン株式会社
ライカカメラジャパン株式会社
株式会社ワコール

(平成19年4月現在・五十音順)

友の会 Supporter

東京都写真美術館では、随時新規会員の募集をしています。展覧会のご招待・割引、上映映画の割引、写真美術館ニュースeyesの送付をはじめ、たくさんの特典をご用意している他、関連施設での割引もございます。開館時間中(10:00~18:00)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

年会費	
個人会員	2,000円
家族会員同伴者1名まで	3,000円
シルバー会員(65歳以上の方)	1,000円

○受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
○会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。
※詳細は当美術館までお問い合わせください。
TEL:03-3280-0099

友の会特典	特典内容
収蔵展・映像展	無料 ※会期中は何度でもご覧いただけます ※家族会員の方は、同伴者1名まで無料
共催展・企画展	割引 ※御利用いただけない場合もございます
ミュージアムショップ	5%引き ※一部商品は除きます
カフェ	ブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き ※詳細はお尋ねください
その他	○写美NEWS「eyes」送付 ○1階ホール(実験劇場)の割引 ○ロコ洗谷店で1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など